



上菅田中学校だより

第4号 令和元年7月8日発行

発行責任者 校長 関 恭雄

上菅田中学校 学校教育目標

- ◆学びを深め、実践力を養う
- ◆互いを認め、自分を伸ばす
- ◆豊かな心と健康な体をつくる
- ◆地域の一員、国際社会の一員であることを自覚し、行動する

お知らせ 令和元年度卒業証書授与式は令和2年3月11日（水）に行います。

職場体験

6月27日、本校2年生が「職場体験」

で多くの事業所や公共機関にお世話になりました。中学生に貴重な体験をさせていただいた受け入れ先の皆様に心より御礼申し上げます。



〈令和元年度職場体験受け入れ先一覧〉（順不同）

農業体験→

食彩工房	笹山保育園	大龍飯店	夢 21 上星川
兵頭動物病院	ズーラシア	Blue-sky	マクドナルド和田町店
上菅田小学校	保土ヶ谷図書館	ラーメン蝦夷	美容室ナガイ
フォンティーヌ	マクドナルド星川店	グリーンスポーツ	松野厚司様（農業）
笹山小学校	保土ヶ谷区役所	夢庵 鶴ヶ峰店	安藤スポーツ
竹山南幼稚園	マクドナルド保土ヶ谷店	和作	陣スポーツ
セブンイレブン川島町店	デイサービスなごやか保土ヶ谷	ミニストップ上星川店	
トヨタカローラ鶴ヶ峰店	ローソンスリーエフ上星川店	パティスリートウージュール天王町駅前店	

夏の大会・最後まであきらめない！

野球部 ☆感動の名勝負 最終回一死満塁

6月29日、霧雨の中、野球部が岸根公園野球場で日吉台中学校と対戦しました。初回に2点を奪われたものの、その後はエース村上投手の好投と高柳捕手の好リード、そしてバックを支える各野手の練習の成果を発揮した好守で、緊張感のある好ゲームが展開されました。赤尾選手の三塁打も飛び出し、ベンチもベンチ裏の保護者応援席も一体となって盛り上がり、何か起きそうな予感の中、2点を追いかけて最終回を迎えました。そして、駒木根選手の三塁打を皮切りに、一死満塁、一打すれば同点の状況まで相手チームを追い込みました。最後のバッターの打球は惜しくも遊撃手の正面へのライナーで、飛び出した三塁走者も戻れずゲッツーでゲームセット。惜しい敗戦にはなりましたが、1年生の時から知っている野球部員たちの成長と最後まで戦い抜く姿に、心から感動しました。野球の素晴らしさ、部活動の素晴らしさが凝縮された試合でした。野球部の皆さん、お疲れ様でした。そして、感動をありがとうございました。

野球部顧問天池先生から部活動を頑張っているみなさんへのメッセージ

嬉しかったのは大会の前日に、他の部の人たちから「野球部、頑張ってください」とエールをいただいたことです。そういう温かさが上中の良さの1つだと思います。私は最後の試合直後のミーティング中、いつも自然に涙があふれてきます。それは3年間の様々な思い出がよみがえり、「もうこの仲間野球ができないんだ」という寂しさと「ここまで頑張ってきてくれて本当にありがとう」という選手たちへの感謝の想いからなのでしょう。

私は部活動が大好きです。自分自身辛いことや苦しいこともありましたが、部活動を通して人生における大切なことをたくさん学んできました。自分が本気で打ち込めることに全力で挑戦することは、必ず人生の宝になります。そして部活動で同じ目標へ向かって頑張った仲間は一生

ものです。顧問という立場になってからは、生徒が頑張る姿を見て日々感動し、大きな勇気ももらっています。

昨日風呂に入りながら、1時間以上かけて息子と娘の靴下を洗いました。泥まみれでなかなか汚れが落ちません。それでも「頑張れよ」という気持ちで心をこめて洗いました。その時初めて自分の母親も文句一つ言わずに洗っていてくれたことを思い出し、親のありがたさに涙が出てきました。最後は「感謝」だと思います。仲間への感謝、顧問の先生への感謝、そしていつも近くで応援して下さる家族に大きな感謝の気持ちをもって、最後まで悔いのない部活動を楽しんでください。

「上中創立 50 周年記念イベント～令和につなげ上中のキセキ」

7月4日、生徒会本部役員が中心となり準備を進めてきた50周年記念イベントが開催されました。吹奏楽部の華やかなお祝い演奏で幕を開けたイベントは、『のび太の上中大冒険』で上中の歴史を振り返り、生徒の思いを盛り込んだ「校歌・四番」も初めて披露されました。そして、ついに「全校ソーラン」が実現しました。生徒自らがリーダーとなり全校生徒で作ったソーランに、体育祭での研ぎ澄まされた演技への感動とはまた別の、言葉にはできない感動をおぼえました。締めくくりの「上中宣言」も素晴らしかったです。上中生は、やっぱりカッコいい！



上中宣言 私たち上中生は、明るいあいさつで互いの気持ちを伝えあい

体育祭の最後、バラバラだったハチマキの色を黄色にそろえ、心をひとつにしてヨサコイを踊ること
その伝統、そして上中生の絆をこれからも受け継いでいくこと

私たちが積極的に活動し、上中を活発にしていくこと

自ら、そして仲間や地域と共に学び、上菅田の新たな歴史を創りあげていくこと

私たちが中心となり、上菅田をみんなが住みたい、住みつづけたいと思えるような町にしていくことを誓います。

令和元年7月4日

上菅田中学校生徒一同

上中 YOSAKOI ソーランの始まりについて、平成29年10月の学校だよりで紹介していますので再掲します。

上中 YOSAKOI ソーランの始まり

上中の伝統になっている上中 YOSAKOI ソーランは、いつから始まったのでしょうか。古い校誌をひもといて、調べてみました。今から16年前（註：令和元年時点では18年前）、当時の2年2組の生徒が、自然教室のキャンプファイヤーでクラスの出し物として YOSAKOI ソーランを発表しました。それがきっかけで、地域の施設訪問や学校行事の際にソーランを発表したらどうかという声が2年生の先生方からあがりました。そして、2年生の有志生徒の募集が行われ、平成14年1月に本格的な練習が開始されました。ビデオを見ながらの猛練習が続き、その成果は3月の3年生を送る会で発表され、大好評を博しました。その時に着用した法被は、西区の老松中学校からお借りしたものでした。

その2年生が3年生に進級すると4月の新入生を迎える会や5月のPTA総会でも3年生有志によるソーランが披露されました。そしてついに、秋の体育祭の3年生の正式演技として採用されることになり、「上菅田」の文字を染め抜いた上中 YOSAKOI ソーランの法被も3年生全員分揃えることになりました。ソーランは地域でも評判となり、上菅田や笹山や西谷のお祭りにも招待され、1～3年生有志による法被姿でのソーランが披露されました。体育祭本番でのソーランも大成功し、それ以来、上中の伝統として定着していくことになりました。